

令和7年度事業報告書概要（辰巳の森海浜公園外7公園）

指定管理者：東部地区公園グループ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

・辰巳の森海浜公園 園地管理

利用者がニュースポーツや遊具広場等の公園施設を快適に利用できるよう、基準を超えて除草や芝刈りを行いました。また、公園に滞在する時間をより快適に過ごしていただくため、公園の顔である管理事務所の清掃を基準を超えて行い適切に管理しました。アンケート結果では「枝葉や草花の手入れ等管理状況」が4点満点中3.8ポイント（95%）を獲得することができました。

・晴海ふ頭公園 建物管理

利用者が公園に滞在する時間をより快適に過ごせるよう、利用頻度が高いトイレ清掃を基準を超えて行いました。アンケート結果では、「トイレやベンチ等の施設の管理状況」が4点満点中3.7ポイント（92.5%）を獲得できました。

・晴海ふ頭公園 樹木管理

晴海フラッグの入居開始で多くの公園利用が見込まれたため、景観を維持するため剪定を当初の予定回数より多く実施しました。

アンケート結果では、「樹木の質や量」が4点満点中3.6ポイント（90%）を獲得することができました。

・晴海ふ頭公園 バイクの園内進入に対する対応

9月の夜間にバイクの集団が園内に進入する事案が発生しました。バイクが進入できる公園入口を夜間は全て封鎖するとともに、夜間巡回を強化し、再発防止を図りました。結果、その後バイクの進入を発生させることはありませんでした。



・辰巳の森緑道公園：クビアカツヤカミキリ対応（防除策、地元への対応）

令和6年度に発見したクビアカツヤカミキリの被害について、防除策として、樹木医による診断や薬剤散布、ネット巻き、巡回時の駆除など様々な対策を行いました。ただし、被害が拡大し、危険木が発生したため、伐採にあたって、港湾局への協議・辰巳団地自治会への説明・周辺住宅へのピラ撒き・桜並木を守るための講習会・植樹会の実施など丁寧に対応したことで、伐採に係る苦情を発生させることなく、安全かつ快適な利用を確保しました。



○ 安全性の確保

・東京アクアティクスセンター、晴海客船ターミナルと連携した訓練

令和4年5月の東京都防災会議「東京都の新たな被害想定」における首都直下地震や南海トラフ地震などの津波被害(津波高2m～2.6m)を想定した避難誘導訓練と情報伝達訓練を実施しました。

今回新たに11月にリニューアルオープンした晴海客船ターミナルと連携し、隣接する施設同士、情報伝達訓練を実施しました。避難誘導訓練では、一時滞在施設である東京アクアティクスセンターのスタッフに同行してもらい、発災時における連携の流れを再確認し、発災時の体制や対応を整備しました。



2 事業効果

○ 事業の取組

・辰巳の森海浜公園 アクアティクス、アイスアリーナと共同実施した辰巳健康スポーツフェスティバル

東京アクアティクスセンターだけでなく、9月に開業した東京辰巳アイスアリーナとも連携し、「スポーツの日」にイベントを同時開催しました。園内では、アクアティクスセンターからボルダリングを出店してもらい、事業連携につなげました。地区一体で様々なスポーツ体験につなげ、地区のスポーツ振興や賑わい創出につなげました。(参加者数2,554名)



<ボルダリング>

・晴海ふ頭公園 盆踊りとハロウィンイベント

隣接するハルミフラッグの自治会と連携し、新たに「盆踊り大会」と「ハロウィンフェスタ」を開催しました。盆踊りは、自治会を中心に地域企業や団体、スポーツチームなど様々な方が参画したことで盛大な催しにすることができました。ハロウィンフェスタは晴海ふ頭公園だけでなく、ハルミフラッグ内も会場としたことで、地域一体となった催しにでき、地域の活性化につなげることができました。

・盆踊り 7月12日・13日開催 15,000名 ・ハロウィン 10月19日開催 2,500名



<盆踊り大会>

・春海橋公園 旧晴海鉄道橋の看板設置

春海橋公園では旧晴海橋鉄道橋が供用開始となりましたが、利用者から釣り禁止や自転車乗り入れ禁止などのルールを明示してほしいという声があったことを踏まえて港湾局と協議の上、両公園に常設看板を設置しました。また、旧晴海鉄道橋の動画が閲覧できるQRコードも設置し、東京港の歴史案内にもつなげました。



・辰巳の森緑道公園 桜並木を守るための講習会

クビアカツヤカミキリの被害を受けて、危険木となったサクラを伐採するにあたり、地域の理解と連携を深めて、防除につなげていくため、桜並木を守る講習会を開催しました。樹木医や薬剤メーカーの協力を得て、クビアカツヤカミキリの脅威や全国の現状を説明、実際の被害木を現地で確認し、サクラの現状を学んでもらいました。参加者には、駆除方法とともに、発見した場合は公園管理事務所に連絡いただくことを周知し、地域連携につなげました。(参加者数20名)



・辰巳の森緑道公園 桜の後継樹づくり

桜並木を後世に残していくため、クビアカツヤカミキリの被害により伐採したサクラの跡地に新たなサクラを植樹しました。今回は伐採した本数が20本に対して、25本のサクラを地域住民の方と植樹し、公園に愛着を持ってもらいました。



○ 利用の状況

・辰巳の森海浜公園 令和7年度の来園者数：125,819人

○ 行政目的の達成

・辰巳の森海浜公園 東京辰巳アイスアリーナとの連携

開業後は、隣接する施設同士東京アクアティクスセンターも含めた3者で令和7年12月より情報共有連絡会を開催しました。会議内では各施設の課題や催し・大会スケジュール等を共有しました。公園では、共有した情報を駐車場の管理体制に活用するなど円滑な施設運営につなげました。

・晴海ふ頭公園 晴海客船ターミナルとの連携

令和7年11月に晴海客船ターミナルが再開業するにあたり、晴海客船ターミナルの指定管理者と事前に境界確認や再開業後の連携に関する打ち合わせを行いました。事前に擦り合わせできたことで、再開業後の円滑な運営及び事業連携につなげることができました。

【事業連携の内容】・発災時の情報伝達訓練・客船ターミナル内の駐車スペースを時間貸駐車場に変更

3 収支状況（単位：千円）		
項 目		金 額（税 込）
収 入 計		267,215
内 訳	指 定 管 理 料	260,628
	利 用 料 金	6,587
支 出 計		271,848
収 支 差		-4,633

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。